

数理分子生命理学専攻第2回公開シンポジウム 「生命科学と数理科学の融合」プログラム

8月7日

13:00 – 13:05

数理分子生命理学専攻長挨拶

13:05 – 14:05

伊藤裕子(科学技術政策研究所)

「生命科学と数理科学の融合における国際的な動向」

14:10 – 15:10

影山龍一郎(京都大学ウイルス研究所)

「短周期遺伝子発現リズムと形態形成」

Coffee Break

15:30 – 16:30

本多久夫(兵庫大学)

「多細胞生物の形態形成研究のための多面体細胞モデル」

16:35 – 17:25

小林 亮(広島大学)

「生物に学ぶ最短経路探索アルゴリズム」

17:30 – 18:40

ポスターセッション

19:00 – 21:00

バンケット

8月8日

9:30 – 10:30

木寺詔紀(横浜市立大学)

“Linear response theory of structural changes upon ligand binding”

10:35 – 11:35

Alexander S. Mikhailov(Fritz-Harber-Institut, Germany)

“Relaxation Phenomena in Complex Elastic Networks and Design Principles of Molecular Machines”

12:50 – 13:40

楯 真一(広島大学)

“A novel experimental approach for elucidating morphological change of proteins in solution by NMR spectroscopy”

13:45 – 14:35

山本 卓(広島大学)

「遺伝子ネットワークの解明を目指した実験生物学の取組み」

Coffee Break

14:55 – 15:45

柴田達夫(広島大学)

ストライプ形成のネットワーク構成原理とそれに基づく発生プログラムの解読

15:50 – 16:40

パネルディスカッション

「融合研究はなぜ難しいか？」